



笛南中だより

甲府市立笛南中学校
文責 校長 井上有史

子ども BOUSAI 教育～こふう～

2月7日(火)に、1年生を対象に「子ども BOUSAI 教育」を実施しました。これは、大規模自然災害等の発生が懸念される中、防災教育の重要な担い手である小中学生を対象に、災害に立ち向かう姿勢や、防災に関する基礎知識、災害時の助け合いの大切さを理解し習得してもらうことを目的に、甲府市が実施している活動です。

当日は、甲府市危機管理室地域防災課から5名の講師が来校し、映像やスライドによるわかりやすい講話と、実際の防災グッズを活用した避難所体験を行いました。ここ数年、自然災害による甚大な被害が多発している中、自助、共助、公助について真剣に考え準備をしていく上で、とても貴重な体験になったと思います。会の中で講師の方から、「災害発生時に家族で確認しておくこと」として、緊急時の連絡方法や集合場所、防災グッズの準備等ご示唆いただきました。是非各ご家庭でも災害への備えをお願いいたします。



第4回 PTA 役員会

2月10日(金)、本年度最後となる第4回 PTA 役員会をオンラインで実施しました。本年度より、感染症対策や保護者の皆さまの負担軽減等の観点からスタートしたオンライン会議ですが、回を重ねるごとに使い方等も定着し、とても短時間で有意義な会合とすることが出来たと考えています。また、当日は突然の大雪の影響で学校への参集はとても困難な状況でありましたが、オンラインで各ご家庭を繋ぐことで、予定通りの話し合いが実施できました。改めて ICT の強みを実感したところです。「コロナ終息後も、是非このスタイルで実施をお願いしたい」という声もたくさんありました。いくつか課題も指摘されていますが、今後も引き続き ICT を有効活用させていただければと思います。

今回の役員会では、学校から経過報告や今後の予定、各学年生徒の近況等が提案され、よりよい学校運営に向けた話し合いがなされました。

本年度の PTA 活動を推進していただきました、木之瀬会長はじめ執行部の皆様、各学年役員の皆様、1年間のご尽力誠にありがとうございました。

3年生に贈る会

3月6日(月)3年生に贈る会が実施されました。感染症対策を徹底しながらの運営でしたが、1,2年生が感謝の気持ちを贈るため、心をこめて創り上げてきました。

当日は、職員室前の廊下や会場に、思い出の写真が飾られるなど、心から3年生に感謝を贈ろうとする気持ちが強く伝わってきました。吹奏楽部の生演奏でスタートし、生徒会からは恒例の寸劇とスライドが、1,2各学年からは呼びかけと合唱が、さらに1,2年生合同の応援やソーラン節の演技が披露されました。3年生もその返礼に応援と合唱曲を発表しました。コロナ禍前には、卒業式に在校生も参列していましたが、今回の卒業式では在校生は代表のみの参加となりますので、在校生が3年生の勇姿を見るのはこれが最後となります。そんな気持ちがわかってきたからか、3年生の発表は流石でしたし、最後のお礼の言葉は、とても感情がこもっていて感動的でした。また、丁寧につくられた招待状を大切に持った3年生が、嬉しそうな表情で参加している姿がとても印象的でした。

3年生から渡されたバトンは、在校生がしっかりと受け継ぎました。3年生の今後の活躍と、在校生のさらなる成長を期待しています。



第2回学校運営協議会設置推進委員会

2月27日(月)、第2回学校運営協議会設置推進委員会を実施しました。来年度の設置に向け、本年度は設置推進委員会として準備を進めています。

今回は、来年度に向けて役員を選考や、本年度の学校評価への講評、来年度の方向性等が話し合われました。役員につきましては、互選により会長に中込敏雄様、副会長に志村文夫様、専門員に古屋一彦様が選任されました。また、様々な視点から今後の学校経営に関する貴重なご意見をいただきました。特に、今後の児童生徒数の減少に対して、地域全体で解決に向けた取り組みが必要不可欠であることを再確認させていただきました。学校と地域がより連携を深めながら教育活動が推進されますよう、お力添えをお願いいたしました。

第58回卒業証書授与式

3月9日、3年生が義務教育9年間の教育課程を無事に終了し、笛南中学校を巣立っていきました。入学当初から感染症に翻弄され続けた中学校生活でしたが、常に前向きに、また仲間同士支え合って今日の日を迎えることが出来ました。卒業生に向けた餞の言葉を掲載します。

令和四年度 卒業証書授与式 式 辞

風土記の丘にも、春が訪れ、校庭の桜の蕾もふくらみ始める季節となりました。今日このよき日に、令和四年度、甲府市立笛南中学校 第五十八回卒業証書授与式を、挙行できますことは、私たち教職員にとりまして、この上もない喜びであります。本日は、甲府市教育委員会教育長職務代理者 市川修策 様をはじめ、多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、誠にありがとうございます。厚く御礼申しあげます。

四十六名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

リレー『伝統を大切にしながら、新しい笛南中を創りあげる』こと、を目標に掲げ、言葉通りの活動で笛南中学校を導いていただきました。また、「気づき・考え・実行する」態度目標の実現に向け、委員会活動を見直し、SDGsへの取り組みを推進するなど、皆さんが笛南中学校に残した足跡は、新たな伝統としてこれからも引き継がれていくことと思います。

思い起こせば、皆さんが小学校卒業する直前に、新型コロナウイルス感染症が流行し始め、学校生活にも様々は影響が出てしまいました。三年前の三月からは、三カ月にも及ぶ学校休業があり、楽しみにしていた中学校への入学式は、五月の下旬になってからでしたね。一年生の時には、様々な学校行事が中止・延期されてしまいました。また、夏休みも短縮されてしまい、やりたいことができない、外出も控えなければならない、今までにない夏となってしまいました。

令和四年度、皆さんが最上級生になった時も、状況はあまり変わりませんでした。本来ならば、思いっきり大きな声で笑い合ったり、語り合ったり、肩を組み合ったり、そんな中学校時代ならではの行動さえ、ままならない日々が続きました。また、友の顔すら、マスク越しでしか見ることができない三年間でした。それでも皆さんは常に前を向き、知恵を絞り、あらゆる努力により、これらの困難を乗り越えてきました。とても立派でした。

何事もそうですが、困難を乗り越えるためには、知恵と努力と忍耐が必要です。特にこの三年に及ぶ長い期間は、まさに忍耐の連続だったと思います。そして、この忍耐力こそ、中学校時代に培われる、とても大切な力のひとつだと思います。「耐え忍ぶ力」。この力があれば、きっとこれから先、どんな困難にも負けることなく、未来を切り開いていけるとと思います。どうかこの三年の耐え忍んだ期間を、そして、それを乗り越えた知恵と努力を忘れないでいてください。また、皆さんの頑張りには、常に学年主任の田村由紀先生、学級担任の竹中翼先生、中島直美先生はじめ多くの先生方が、愛情あふれる気持で寄り添い、励ましつづけてくれたこと、これから先もずっと忘れないでいてください。「やまない雨はない」、「開けない夜はない」と言われるように、感染症に打ち勝つ日はもうすぐそこまで来ています。

皆さんが社会で活躍する頃には、様々な革新や変動により、社会や職業のあり方そのものが、大きく変化するといわれています。そのような激動の時代を、たくましくそしてしなやかに歩んでいくには、「自立」すること、多様な他者と「協働」すること、そして、新しい価値を「創造」していくことが必要となります。皆さんには、少し難しい言葉かもしれませんが、でも安心してください。なぜならば、この三つの資質・能力の基礎を、皆さんはこの笛南中学校で、しっかりと身に着けたからです。ふるさとに誇りを持ち、堂々と胸を張り、未来に向かって大きな一歩を踏み出してください。皆さんの後ろには、いつでも皆さんを心から応援する家族や先生方、友達、そして地域の方々がいることを決して忘れてはいけません。また、皆さんからたくされたバトンは、在校生がしっかりと受け取り、笛南中学校の伝統を引き継いでいきます。

保護者の皆様、本日はご卒業、誠にありがとうございます。微力の私たちではございましたが、保護者の皆様、地域の皆様のお力添えのおかげで、三年間の教育活動を無事修了し、このように立派な姿で、今日の日を迎えることができました。今までのご尽力、ご協力に職員一同心より感謝申し上げます。四月からスタートする新しい環境の中で、子どもたちは自分を探し、そして、自分作りの旅を続けていきます。大人への階段を一步一步登っていく多感な子どもたちを、今まで以上に温かく見守り、寄り添っていただけますようお願い申し上げます。

結びに、四十六名の卒業生の前途に、幸多からんことを祈念いたしまして、学校長式辞といたします。



令和五年三月九日
甲府市立笛南中学校
校長 井上 有史